

今年もやります!

住宅省エネ 2024キャンペーン

大好評の
2023
キャンペーンに
続き



詳細はこちら



子育てエコホーム
支援事業
(国土交通省)



先進的窓リノベ
2024事業
(環境省)



給湯省エネ
2024事業
(経済産業省)



賃貸集合給湯
省エネ2024事業
(経済産業省)

おすすめ

■先進的窓リノベ2024事業

内窓設置

- 大 52,000円×2箇所
- 中 36,000円×4箇所
- 小 23,000円×3箇所

小計317,000円

■子育てエコホーム支援事業

ドア交換

- 大 49,000円×1箇所
- 小 43,000円×1箇所

節水型トイレ
(掃除しやすい機能を有するもの) 22,000円×1台

高断熱浴槽 30,000円/戸

節湯水栓 5,000円×3台

段差解消 7,000円/戸

手すり設置 5,000円/戸

宅配ボックス 11,000円/戸

小計182,000円

■給湯省エネ2024事業

ハイブリッド給湯機 100,000円

合計599,000円

もっとおすすめ

■先進的窓リノベ2024事業

内窓設置

- 大 68,000円×2箇所
- 中 46,000円×4箇所
- 小 29,000円×3箇所

小計494,000円

■子育てエコホーム支援事業

ドア交換

- 小 43,000円×1箇所

節水型トイレ
(掃除しやすい機能を有するもの) 22,000円×1台

高断熱浴槽 30,000円/戸

節湯水栓 5,000円×3台

段差解消 7,000円/戸

手すり設置 5,000円/戸

宅配ボックス 11,000円/戸

小計133,000円

■給湯省2024エネ事業

ハイブリッド給湯機 100,000円

合計727,000円

窓廻りの断熱や
設備・住まいやすさ
重視のリフォームに
お薦めはこちら

内窓設置+子育てエコホーム+ ハイブリッド給湯器の補助



Y社推奨 まるごとリフォームプラン

今、「住宅」と「健康」の深い関わりに、 世界的な注目が集まっています!

健康!

入浴中の事故は交通事故より多い!
温度差によるヒートショックのリスクも!

暖かいリビングからお風呂場へ移動したとき、寒い!と感じたことはありませんか? 冬季の入浴中の死亡数はその他の時期と比べて何倍にもなっており、冬場の入浴事故には、温度差が引き起こすヒートショックの影響が大きいと推測されています。身体に大きな負担がかかる部屋間の寒暖差には、家の断熱性能が大き関わっています。

約2,839人 約1万9千人



出典:厚生労働省科学研究費補助金「人形環境事故の発生状況及び予防対策に関する研究」,平成24~25年度 総合研究報告書,「熱中症」(令和2年)における入浴事故の発生状況等について

断熱リフォーム 実施後の 健康への影響 調査結果!

出典:「断熱:国土交通省 スマートエネルギー住宅等推進調査事業(2014年度~)」,9月14日作成

断熱リフォーム後、
最高血圧は平均3.5mmHg低下!
室温が低下すると血圧は上昇します。例えば室温が20℃から10℃に低下すると80歳女性で最高血圧が11.6mmHg上昇。一方、断熱性を高める省エネリフォームを行った後の計測では、起床時の最高血圧は平均で3.5mmHg低下しました。

室温低下(20℃→10℃)時の最高血圧

80歳	女性の場合	11.6 mmHg 上昇
	男性の場合	10.2 mmHg 上昇
30歳	女性の場合	5.3 mmHg 上昇

健康診断結果
寒い住環境だと、
健康診断の結果に影響!
室温が18℃未満の住宅に住む人は、18℃以上の住宅に住む人に比べると健康リスクが高い傾向が!
| 室温18℃未満の住宅に住む人の健康リスク
総コレステロール値が基準範囲を超える人 2.6倍
心電図の異常所見のある人 1.9倍

入浴方法との関係
寒い脱衣所からの「熱め入浴」で、
ヒートショックのリスク増加!
居間や脱衣所の室温が18℃未満の住宅に住む人は、ヒートショックのリスクを高める熱め入浴(42℃以上)が約1.8倍に増加。部屋間の温度差をなくし、家全体を暖くすることが重要です。



補助金に予算
上限があるから早めに
考えなくちゃ!

WHOの「住宅と健康に関するガイドライン」で 冬季室温を18℃以上にと強く勧告!

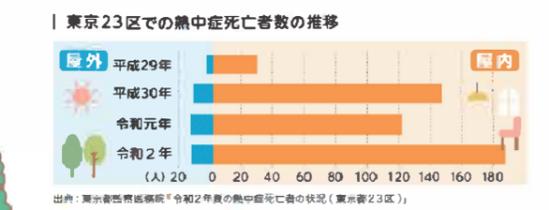
世界保健機関(WHO)は、室内の過剰な暑さや寒さに関する健康へのリスクを回避するため、温暖あるいは寒冷地域の寒い季節においては、室温を18℃以上とすることを強く勧告しています。

- POINT 1 冬季室温18℃以上(小児・高齢者にはさらに暖かく) [強く勧告]
- POINT 2 寒い季節がある地域での住宅の断熱化 [勧告]
- POINT 3 夏季室内暑熱対策 [勧告]

出典:世界保健機関「住宅と健康のガイドライン」より作成

夏の部屋が暑すぎると感じませんか? 家の中でも熱中症に注意が必要です!

2020年夏、浜松市では国内最高気温(41.1℃)を記録。多くの地域で最高気温を観測しました。全国の熱中症による救急搬送者や死者数は増加傾向にあります。窓や天井の断熱性を高めることで、屋外から熱が入る割合を減らし、自宅を涼しく保つことが有効です。



出典:東京都市圏医師会「令和2年度の熱中症死亡者の状況(東京都23区)」

お客様の声

先日は、床下・屋根裏断熱や窓のカー工法を行っていただきありがとうございました!夏とでも暑かった2階が既に体感でわかるほど室温が変わっています!
窓も、期待していた遮熱効果の他、思いがけず防音性能も高まっていて、『工事してもらって本当に良かったね』と家族で話しています。
冬の寒さもきっと随分変わるだろうと今年の冬が楽しみです!



床下施工前 断熱なし
足元から冷えや暑さを感じられます



施工後 発砲ウレタン吹付断熱 t90
発砲スチロールのような細かい泡を全面に
吹き付ける ことにより熱を通しません



床下、天井断熱改修
一戸建てでは夏の暑さ、冬の寒さの原因はここにあることが多いのです!

天井施工前 旧仕様のグラスウールで断熱性能が低いいため熱を遮断出来きれていません



施工後 従前よりある断熱材の上に高性能グラスウール100mmを全面に隙間なく敷き詰め、屋根裏からの熱を室内に通しません